

# 下越地区特別支援教育研究大会新発田市大会



令和5年11月24日(金)、新発田市生涯学習センターにて、下越地区特別支援教育研究大会新発田市大会が開催されました。今回は、対面とオンラインとのハイブリッド開催でした。

会に先立ち、新潟県特別支援教育研究会の江口滋会長より挨拶がありました。続いて、新発田市教育長の工藤ひさし様からの祝辞をいただきました。その後、新発田市大会副実行委員長の松原利弘様から来賓紹介がありました。



まず、新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室指導主事廣川豊士様から「新潟県の特別支援教育の現状と課題」という題目で全体指導をしていただきました。

続いて、新潟県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校教頭横堀壮昭様から、「体験して考えよう〜特別な支援が必要な子どもの見え方・感じ方〜」という演題で、ご講演していただきました。支援が必要な子供たちがどう見えているのか、どう感じているのかを体験したことで、その上でどういう指導が適切であるかを、分かりやすく説明していただきました。



閉会式では、新発田市大会実行委員長の萩野喜弘様から閉会の挨拶をいただきました。300名弱が参加する大変充実した大会で、参加者の知見が広がりました。